

表（運転協力者1） 移送サービス概論

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
<p>主旨：自分たちの活動内容を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移送サービスとは >>様々な目的の移送サービスがあることを知る。 ・国内の移送サービスの歴史と現状 >>移送サービスが生まれた背景や活動の変遷、移送サービス団体の現在の活動状況や位置づけ等を理解する。 ・意義と市民活動との関係 >>「移動」の重要性と移送サービス活動の意義、地域全体で支えることの重要性等を理解する。 	50	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史年表 ・活動の様子(写真) ・地域関連データ <p>等</p>

表（運転協力者2） 利用者理解

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
<p>利用者を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動困難者 >>移動困難にある人の状況と、一人一人に応じた対応の重要性を理解する。 ・肢体不自由 >>下肢障害の原因・種類による対応の違い等を理解する。 ・視覚障害 >>程度によって見え方が異なること、誘導時の対応、盲導犬への対応等を理解する。 ・聴覚障害 >>失聴年齢等によって話し方が異なること、補聴器への対応等を理解する。 ・言語障害 >>言語障害の種類、コミュニケーションの取り方等を理解する。 ・内部障害 >>移送サービスニーズの高い腎臓機能障害(腎不全)、透析患者への対応、その他の内部障害への対応、携帯医療機器等を理解する。 ・精神障害 >>精神障害の背景とコミュニケーションの取り方等を理解する。 ・知的障害 >>知的障害の種類と症状への対応、コミュニケーションの取り方等を理解する。 ・その他疾病・難病 >>発作への対応等を理解する。 ・高齢者 >>心と体の変化や認知症と対応を理解する。 	50	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の様子を表すイラスト ・対応の様子を表すイラスト <p>等</p> <p>移送サービス活動に詳しい理学療法士や作業療法士、ヘルパー資格所有者等が適切</p>

表（運転協力者3） 接遇・介助（講義）

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
接遇のポイント、介助の基礎を知る		
<ul style="list-style-type: none"> ・接遇とマナー（心構えや服装等） <ul style="list-style-type: none"> >>個人として対等な接遇や必要最低限の接遇、守秘義務、確認の重要性、動作によるコミュニケーション等を理解する。 >>利用者を不快にさせない服装や雨天時の準備等を理解する。 ・声かけの重要性 <ul style="list-style-type: none"> >>声かけの重要性と声をかけるタイミングや言葉遣い等を理解する。 ・会話のポイント <ul style="list-style-type: none"> >>相手を不快にさせない言葉遣いや運転中の会話等を理解する。 ・守秘義務 <ul style="list-style-type: none"> >>個人情報扱いの重要性を理解する。 ・その他移送サービスで使用する福祉機器の紹介 <ul style="list-style-type: none"> >>普段使用するものではないが、知っている则便利機器を理解する。 	60	<ul style="list-style-type: none"> ・各種機器の写真 <p style="text-align: right;">等</p>

表（運転協力者3） 接遇・介助（実技）

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
接遇のポイント、介助の基礎を知る		
<ul style="list-style-type: none"> ・移送サービスで必要とされる介助 <ul style="list-style-type: none"> >>車いすの種類と介助(階段介助、乗降介助、トイレ介助)故障時の対応を理解する。 >>片まひ、高齢者、視覚障害者等歩行障害者の介助を理解する。 ・ベッド・ツー・ベッドの取り扱いは各団体の判断による 	60	<ul style="list-style-type: none"> ・移動式階段昇降機による階段昇降の実演 ・視覚障がい者のガイドヘルプ(障がい者側の体験をする受講者はアイマスクによる疑似体験) ・ボディメカニクスを理解する <p style="text-align: right;">等</p>
<p><実技の実施にあたって></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が車いす介助の体験をできるよう、車いすの台数を設定する ・複数の実技を行う場合は、講師の数や時間により、受講生を複数班に分けて同時併行で行うと効果的である 『疑似体験』は、当事者付添のもとで実施すると、より効果的である ・会場下見の際、教材になりそうな段差やスロープ等の建物設備を確認しておくで安心である ・1人での階段昇降は危険なため、受講生には体験させない方が安全である 		

表（運転協力者4） 福祉車両（講義）

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
活動に使われる車両を知る		
<ul style="list-style-type: none"> ・各福祉車両の種類と特徴 >>リフトタイプ、スロープタイプ等主要な車両の特徴とどのような利用者に適しているか等を理解する。 ・乗降装置の種類と特徴 >>乗降装置の種類と扱い方、故障時の対応等を理解する。 ・車いす固定装置の種類と特徴 >>車いす固定装置の種類と扱い方等を理解する。 ・ヘッドレスト・シートベルト >>ヘッドレスト・シートベルトの扱い方等を理解する。 ・その他の装備 >>普段使用するものではないが、知っているると便利な装備等を理解する。 	30	<ul style="list-style-type: none"> ・実演時に用意できない車種については写真で代替 ・主要な車両の仕様リスト <p style="text-align: right;">等</p>

表（運転協力者4） 福祉車両（実技）

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
活動に使われる車両を知る		
<ul style="list-style-type: none"> ・乗降装置の種類と特徴 >>乗降装置の種類と扱い方、故障時の対応等を理解する。 ・車いす固定装置の種類と特徴 >>車いす固定装置の種類と扱い方等を理解する。 ・ヘッドレスト・シートベルト >>ヘッドレスト・シートベルトの扱い方等を理解する。 	30	<ul style="list-style-type: none"> ・実演時に用意できない車種については写真で代替 ・主要な車両の仕様リスト
<実技の実施にあたって> ・受講生が乗降装置等の操作に習熟する時間を確保すると効果的である。		

表（運転協力者5） 法律・制度

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
活動に関する法律・制度を知る		
<ul style="list-style-type: none"> ・関係道路交通法/関係道路運送法 >>駐車禁止や罰則の対象になる行為等、普段の活動に関する内容を理解する。 >>道路運送法 80条やガイドラインの概要を理解する。 ・移送サービスに関する制度 >>有料道路通行料金割引、福祉制度（税制優遇制度）等を理解する。 	50	-

表（運転協力者6） 移送サービスでの運転

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
運転時の知識と心構えを知る	50	<ul style="list-style-type: none"> 移送サービスの流れを示すイラスト
<ul style="list-style-type: none"> 移送サービスの流れ <ul style="list-style-type: none"> >>活動の始まりから終わりまでの流れを理解する。 移送サービスにおける安全運転の心構え <ul style="list-style-type: none"> >>基本に忠実な運転技術の重要性、事故防止の心構え等を理解する。 移送サービスで求められる運転マナー <ul style="list-style-type: none"> >>利用者への気配り、予定変更時の円滑な伝達、車両の扱い、喫煙、携帯電話の扱いや車内の清掃等、利用者には不快感を与えない運転マナー等を理解する。 高齢者の運転 <ul style="list-style-type: none"> >>高齢化によって技術が衰えることの実事、事故防止のための注意等を理解する。 マイカーを使用する際の注意 <ul style="list-style-type: none"> >>マイカーならでの団体との取り決めや連絡体制、車内の清掃や点検のあり方等を理解する。 		

表（運転協力者7）安全・安心な運行と緊急時の対応

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
リスク防止・リスク対応を知る	50	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故データグラフ 保険に関する問い合わせ先 等
<ul style="list-style-type: none"> 車両の日常点検 <ul style="list-style-type: none"> >>点検のポイント等を理解する。 リスク対応 <ul style="list-style-type: none"> -利用者の体調不良時 <ul style="list-style-type: none"> >>体調不良時の対応と、体調不良防止、車内での主な体調不良等について理解する。 -車両故障時 <ul style="list-style-type: none"> >>車両故障時の対応等を理解する。 -事故時 <ul style="list-style-type: none"> >>事故時の利用者安全確保、コーディネーターとの連絡事項等を理解する。 リスク防止 <ul style="list-style-type: none"> -感染症の予防 <ul style="list-style-type: none"> >>感染症予防のための車内清掃のポイント、消毒薬の種類等を理解する。 -悪天候・夜間・雪道での運転 <ul style="list-style-type: none"> >>悪天候・夜間・雪道での運転時の注意点等を理解する。 -活動に関わる保険 <ul style="list-style-type: none"> >>移送サービス活動に関係する保険の対象等を理解する。 -最近の交通事故の状況 <ul style="list-style-type: none"> >>最近の交通事故の状況をデータ等から理解する。 		

表（運転協力者 8） 運転実技講習

内容	時間 (分)	オプション (資料・ポイント・実技)
<p>自分の運転を見つめなおす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への気配りをチェック（声かけ、運転中の会話等） >>自分ができている運転中の利用者への気配り、自分の運転技術における弱点等を明らかにする。 	<p>1人 20分程度を目安とする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙コップ ・ロールプレイカード ・利用者による感想シート ・凸凹道や歩行者役
<p><実技の実施にあたって></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗降介助と走行を合わせて1人あたり15～20分のコースを設定する ・コマの時間と受講生の人数により、時間内に収まる車の台数を設定する（1台あたり4～5人が適当） ・受講生を募集する段階で予め希望車種を聞いておくと、スムーズなグループ分けが可能 ・チェックまで終了した後に、車両単位で総括的な講評を講師が話す効果的 <p><チェックの流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生（運転者、車いす疑似体験乗車、介助者：定員により）講師（助手席）が乗車し、コースを走行しながら講師が受講生の運転をチェックシートにチェックする ・車いす疑似体験乗車の際には、オプションとして水を入れた紙コップ（運転の粗密をはかる目安）やロールプレイカード（受講生の気配りを確かめる会話集）を活用してもよい ・安全運転や気配りをはかるため、路面に障害物を置いて凸凹道にしたり、スタッフが歩行者役となり、コース内を歩行することも効果的である ・チェックシートは、コースに合わせて作成することが理想的である ・講師のチェックだけでなく、利用者の視点から感想を聴くために、疑似体験乗車の受講生に「感想シート」へ乗車時の感想を記入してもらい、担当運転者にフィードバックすることも効果的である。 <p><チェック項目例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車時（利用者の確認ができていたか、車内での車いす固定時に声かけができていたか 等） ・車いす固定方法（前方部の固定フック取付と固定ができていたか 等） ・走行時（発進時の声かけができていたか、逆手ハンドルはなかったか 等） ・降車時（到着予告で声かけができていたか、シートベルト取り外しができていたか 等） <p><主なチェックポイント></p> <p>次頁には運転実技時のチェックポイントを整理したチェックシートを例示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース設定上（道路交通法遵守、クランク、S字、踏切、方向転換、縦列駐車、坂道、信号交差点 等） ・声かけ（乗降介助時、走行途中 等） ・コース例 チェックポイントを網羅するコースを設定する <div data-bbox="829 1198 1356 1848" style="text-align: center;"> </div>		